

広報

大河内記念病院だより

冷え込んでまいりました

病院が『かかりに行く所』からすっかり『職場』という感覚になったのは、いつの頃だっただろう。『医療』のカテゴリーの中の『病院』に従事して20数年経ちますが、その間2ヶ月の入院や、他医療機関外来へ『通院』する事は、もちろんありません。

この秋、母親の入院とその病院が自院向けの接遇に関する勉強会を他医療機関等の関係者に門戸を広げて下さり、聴講させていただく機会を得て、『患者さんやご家族への対応』『取引している業者さんへの対応』『自院職員への対応』など

人を『迎える』仕事としての意識はもちろん、その為のスキルと意識をキチンと持てているのか、改めて考える良い機会となりました。

対業者さんには、同職の父からかつて「仕事をしている以上は、売る方買う方お互いに対等である。客だからと言って上の立場と勘違いして横柄な態度をとってはいけません。」と教え込まれましたね、懐かしい。職場では身内であります職員に対しては、それぞれの個性を尊重し、余程に逸脱した事象でなければ、抑え付けるような管理をしてはいけません、と。

9月、長年膝の痛みと闘ってきた母が、遂に人工関節を入れる決断をし、手術とリハビリの為に1ヶ月の入院をしました。担当のドクター、理学療法士、看護師の皆さん、とても丁寧で親切だと感謝していた母でしたが、お一人、ある晩の夜勤で入り、観察に来た若い看護師さんに対しては憤慨しておりました。派手な茶髪やピアスで穴だらけの耳を受け入れられない世代ですが、それよりなにより「言葉遣いが酷かった」と申しておりました。過度に改まった言葉遣いは必要ないけど、あなたの友達じゃないんだよ、と。しかもとどめは手術してない方の脚を診て「大丈夫そうですね」

申し送り受けてないのかなあ(笑) かつての自分の入院経験を振り返ってみると、最初の2日間のICUと最初の手術で半分程外された頭蓋骨を戻すまでの1ヶ月間は食事から排泄までの全介助で、生活の全てをスタッフの方々に委ね、頼ってどうにか生き延びました。

無事、頭蓋骨は入りましたが、1ヶ月に及ぶ絶対安静の寝たきり生活ですっかり筋肉が落ち、枯れ枝のようになってしまった脚の回復を図る為のリハビリでは『アルプスの少女ハイジ』に出てくるクララの様に

「もう歩けなくなっちゃっていいです。」と逃げ口上を発する始末。すると、

「それはご家族が迷惑です。」との優しい諭し(笑) 皆さん、観察を兼ねてコマメに様子を見に来てくださり、様子の聞き取りより雑談が多くなり、塞ぎがちな入院生活を見守ってくれました。保険証と家族への聞き取りで、僕の勤め(当時は精神科勤務)をインプットしていた皆さんは、「お仕事に復帰したいんですよね?」や「歩けなくてもいいとか、職員の前ではそんな弱気なことを言ったことがないって聞いてますよ。」

「退院したらお嬢ちゃん(入院中に誕生)とたくさん遊んであげてくださいね。」と、病棟の皆さんも待ってますよ。」など優しく励ましてくださり、甘えや逃げは絶対に受け入れてくれない代わりに、大きな安心と信頼を与えてくれました。

昨年、町の友人との酒席の帰り、彼の奥様が迎えに来てくれるというので便乗させてもらうと、「前に主人から小泉さんの話を聞いた時に、あの小泉さんだっけ繋がった時はビックリしましたよ。元気になって本当に良かったです。」と。聴くと彼女は、僕を担当してくれていた看護師さん。「科(脳外)的に、元気がなくて 退院される方って殆ど居ないので、こうやって後遺症もなくすっきりお元気になった姿で町で会えて嬉しいですよ。ただ、それが飲み会の帰りとは。」感動の再会でした(大汗)

どこでどう繋がっているか分からないから、もう少し真面目に生きようと改めて思う秋です。 (文責 事務 小泉)



リハビリ科通信

リハビリ科のご紹介

今回は改めまして、当院のリハビリ科のご紹介をさせていただきますね。 現在、山口(写真右)池田(写真左)の2名の理学療法士を中心に運営されています。

『リハビリ科』として本格的に稼働を開始したのは、今年の4月から、と当院では一番若い部署です。日々、病棟の患者様のリハビリを中心に活動しており、リハビリ室や各病室など彼女たちが活動する所は常に患者さん達の笑顔や笑い声が絶えません。積極的なリハビリテーション介入により、入院患者様のADL(日常生活動作)やQOL(生活の質)の維持、向上に大きく貢献してくれています。

病棟の夏祭りでは、軽妙(?)なMCで会を盛り上げてくれるという一面ももっております。

【本人達からのコメント】 「皆様、初めまして。大河内記念病院リハビリ科です。これからも患者様一人ひとりに寄り添い、その方らしい生活に繋がられるよう支援し、安心してリハビリテーションを受けて頂けるよう、サポートしてまいります。」

(文責 事務 小泉)



◆◆◆◆◆福島アフターケア協会 大河内記念病院 地域医療連携室◆◆◆◆◆

〒973-8402 福島県いわき市内郷御厩町三丁目96番地 電話 0246(26)2588 FAX 0246(26)4895 URL http://www.f-sakurahosp.com/



薬剤科通信

薬の正しい使い方 その4



薬は正しく保管しましょう

☆保管の指示（冷所など）があるものは、その通り（冷蔵庫など）に保管するようにしましょう。
特に保管の指示がないものは、直射日光の当たらない涼しく乾燥した所に保存するようにして下さい。
☆薬は、子供の手の届かない所で、常に決まった場所に薬以外のものと区別して保管しましょう。
（文責 薬剤科 鈴木）

栄養科通信

介護予防(サルコペニア対策)に取り組みましょう

サルコペニアとは「加齢に伴い筋肉量が減少し、筋力や身体機能が低下している状態」を言います。
要介護状態になる原因で最も多いのはサルコペニアです。
サルコペニア対策について今回と次回、お話ししたいと思います。

サルコペニア度
チェック

チェック1 あなたのBMIを知りましょう

BMI (bodyMassIndex) は痩せや肥満の基準を定めたもので、体格指数と呼ばれています。

BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

●例えば、体重48kgで身長165cmの場合は
48kg ÷ 1.65m ÷ 1.65m = 約17.6

BMI18.5未満は要注意

チェック2 下腿周囲長を測りましょう

図り方：ふくらはぎの一番太い所を計ります。



一番太いところ！



31cm未満なら要注意です！

（文責 栄養科 長瀬）

外来診療日カレンダー

★ 診察受付 8:00~11:30
診察時間 9:00~12:00

Calendar table showing dates from 11/25 to 1/5. Includes columns for day of the week and specific clinic hours (e.g., 休診日, 整形休診, 年始休診).

※都合により、変更になる場合がございますので、お電話などでご確認ください。